

平成25年12月4日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成25年12月4日(水) 午前9時00分
場所	教育委員会室
開会	午前9時00分
閉会	午前9時32分
出席委員	
委員長	横井利男
委員	雁部隆治
委員	阿部博道
委員	坂根慶子
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
教育委員会事務局参事 (すみだ教育研究所長)	佐久間之
庶務課長	岩佐一郎
学務課長	齋藤好正
指導室長	橋爪昭男
生涯学習課長	前田泰伯
スポーツ振興課長	中山賢治
ひきふね図書館長	村田里美

2 会議の概要

- **横井委員長** それでは教育委員会を始めたいと思います。本日の会議録署名人は坂根委員にお願いいたします。

(平成25年9月18日、10月1日教育委員会会議録確認)

議決事項第1

議案第55号「平成26年度における主要な教育課題について」の案件を上程し、指導室長が説明する。

- **横井委員長** ただ今、指導室長よりお話がありましたように、資料を見て、この場で決定することはできませんので、気がついたことを出していただき、あとは持ち帰って、次回の委員会で検討するということがでしかるでしょうか。それでは、私から気がついた点を申し上げます。最近アレルギーについて、いろいろと問題になっています。これからは、アレルギーの子どもだけではなく周りの子ども達、大人も関心を持つ必要があるから、食育の推進の部分に入れたほうがいいと思います。
- **指導室長** 入れる方向で検討いたします。
- **雁部委員** 豊かな人間性の育成の部分で、障害者という言葉を入れたほうがいいと思います。人権ということに関しては、障害者という言葉もそこに入るのではと考えます。
- **横井委員長** 先ほどの指導室長のお話だと、墨田区に特有の問題の例として挙げられているので、障害者は一般的な問題の中に当然含まれているというのが前提だと思います。
- **指導室長** 墨田区に特化したものを、ここでは挙げさせていただいています。
- **雁部委員** 学校連絡協議会の機能の見直しとありますが、以前は学校運営協議会という名称でした。学校で違うのかもかもしれませんが、連絡という言葉を入れたのはなぜか疑問です。運営協議会で学校側の発表だけで終わっていることが多いと聞いております。協議になっていないものが多々あるようなので、連絡と入れたのは、学校側から一方的に連絡すればそれで済むという形で入れたのではという思いがあります。活性化という割には一方的に終わっているところが多いと聞いていますので、地域の方や協議委員の方にどんどん意見を出してもらいたい。目的は学校をよくすることなので、もう少し活発に協議をしてもらえらる協議会にしてもらいたいです。
- **指導室長** そのことについては、見直しというところに含まれています。学校によっては、委員の方が全く学校のことを知らず意見が言えないということで、学校公開等に委員の方は必ず参加していただきたいということもあります。また、町会長を呼ぶということで人数が多くなっているという現状もあります。協議会ですので学校からの連絡だけではありません。そういうところで内容の充実を図るように校長には指導しております。学校によっては、人数が多すぎて、減らすことができないという話は聞いております。今後も、協議になるような会議にするように指導していきたいと考えております。
- **教育長** コミュニティスクールという言葉がありますが、日本語表記すると学校運営協議会となります。こちらはコミュニティスクールではないので、わざわざ連絡と入れたという記憶があります。学校運営協議会と表記しますと、コミュニティスクールなのではと言われてしまいます。問題は中身の話なので、指導室長がいったように各学校工夫して実質的な、いろいろな話ができるようにしていきたいと思います。
- **坂根委員** 環境教育・防災教育のところで、学校防災計画を生かした緊迫感のある訓練とありますが、緊迫感といわれましても具体的にあまりイメージが沸かないのですが、わかりやすくお願いします。もう一つ、訓練というのは避難訓練が主かと私は思ったのですが、例えばそういう状態になったときに一泊くらいして避難所で生活するような、そういう体験など、ここでは盛り込んでいないようですが、考えたらいかがでしょうか。
- **指導室長** 緊迫感のあるというのは、例えば今まで避難訓練について子供たちに事前に伝えていたのを伝えないとか、休み時間に行く、津波を想定して屋上に避難するとか、いろいろ取り組んでおります。宿泊については、学校によって行っているところもあります。すべての学校では無理だと思いますが、その辺はできる範囲で、できる学校が行うということになっております。

- **横井委員長** 宿泊を伴うということは、地域やPTA等と連携して行うということですか。
- **指導室長** はい。防災課とも連携して行います。
- **雁部委員** 小梅小学校の場合、防災拠点会議があります。そこで10町会の方にご協力いただき、町会長やご高齢の方もお泊りになり、大変だったと思います。子ども達は校庭でテントを張りそこで寝ました。私たち大人はランチルームの床にダンボールを敷き、薄いアルミシートを掛けて寝ました。そういう経験をしたことで、被災地の方々が何十日も同じような生活をされていたと思うと大変だったと思います。1日で勘弁してほしいと思いました。そういう体験は必要だと思います。前日は消防署がAEDの体験や簡易トイレの組み立てなどを子ども達に体験させていましたので、かなり有効だったと思います。
- **阿部委員** 区意識調査(アイチェック)、これはどんな意識調査をしているのですか。
- **指導室長** アイチェックを年2回行っております。第1回目は区の調査と同じ時に行っています。質問用紙がありまして、小2の場合は46問くらい、中学生なら93問くらいいろいろな問いに答え、その中で一人ひとりや学級の分析を行って、いじめが起きていないか、先生と信頼関係があるかどうかなど、様々なことが分かる調査です。
- **阿部委員** アンケートとは別に行うのですね。
- **横井委員長** 「アイ」とは自分という意味の「I」ですね。
- **指導室長** はい。英語の「I」です。
- **横井委員長** 他にもいろいろご意見があると思いますので、それについては直接指導室に連絡してください。
- **横井委員長** 議決事項第1議案第55号「平成26年度における主要な教育課題について」は、引き続き協議することといたします。

報告事項第1

「平成25年度財政援助団体等監査の結果に基づき区長が講じた措置の公表について」、庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 報告どおり承りました。

その他

- **横井委員長** 昨日、第三吾嬬小学校で国語の発表会がありました。大変よい内容でした。その中で、国語ではありませんが、学校内での学習規律、授業の仕方について学習スタンダードというものを作っていました。授業が始まる時に起立をして礼をすることや、発言する時は手を上げる等が書いてあります。非常によくできているので、例えばこれを元にして、一般的な指針、モデルとして各学校に紹介してもいいのではと思いました。授業の様子を見ていまして、子ども達も落ち着いて席に座っていました。細かいことですが、ランドセル棚にきちんとランドセルが並んで入っている所は、授業態度がよく、授業態度がよければ学習効果も上がる。基本的な生活習慣は大事だと思いました。
- **指導室長** 少しずつ、そういうものを作る学校は増えております。幼保小中一貫をやっているので、ブロック内でそういうことができればと考えております。
- **坂根委員** 私も、第三吾嬬小学校の研究発表会に参加させていただきました。とてもよい研究会で

した。講師の方の話の中で、国語の水準が上がった区は、算数もあがってきたとありました。以前、漢字教育について論文で書いた時にいろいろ調べましたが、漢字教育をすると国語の成績が上がるのではなく算数の成績が上がります。このことは教育現場では知られておりますが、一般に国語を勉強すると国語の成績があがると思い込んでいらっしゃる方が多いので、広くPRすることが教育的な効果として意味があると思います。

○ **横井委員長** 以上で、教育委員会を終了いたします。